| 学校番号 | 3035 |
|---|---|

# 令和８年度　理数科

| 教科 | 理数 | 科目 | (学)SS 生物実験 | 単位数 | １単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校「生物」（啓林館） | | | | | | |
| 副教材等 | SENSOR 生物（啓林館）・チェック＆演習生物（数研出版）<br>スクエア最新生物図録（第一学習社）・生物重要問題集（数研出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理数生物特論と同時受講になります。
机上の学習だけではなく、実験や観察を通して実際の生物に触れます。
実験での、仮説、方法、観察、結論（考察）、学習内容との関連を意識して、探究活動に有意義に取り組んでください。実験レポートは期日内に必ず提出して下さい。また、決められた観察日や観察時間帯を守り、有効に実験を進めてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験や，実験のデータなどの分析を行う。
【学びに向かう力、人間性等】
生物学的に探究する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。<br>生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている | 生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 | 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期中間考査 | 10章・11章 | 第10章 刺激の受容と反応<br>第1節 刺激の受容<br>第2節 神 経<br>第3節 神経系<br>第4節 効果器<br>第11章 動物の行動<br>第1節 生得的行動<br>第2節 学習 | a: 外界の刺激を受容し，神経系を介して，反応するしくみを学び，刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。行動に生まれつきのものと学習によるものがあることを理解する。<br>b: 生物の行動・環境応答について科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。<br>c:実験・探究学習に意欲的である。 | 定期考査・小テスト・ノート提出 | 定期考査(思考問題)・実験レポートの内容 | 授業への取り組み・実験や議論への参加 |
| 前期期末考査 | 11章・12章・13章 | 第12章 植物の環境応答<br>第1節 植物の発芽と発生<br>第2節 発芽と成長<br>第13章 個体群と生物群集<br>第1節 個体群とその変動<br>第2節 種内関係<br>第3節 種間関係 | a: 植物の配偶子形成と受精，胚発生と種子の形成，花器官の分化について学ぶ。<br>植物が周りの環境からの刺激に応答するしくみを学び，その際に植物ホルモンや光受容体が関係することを理解する。<br>生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。<br>同種の個体や異種の個体が相互作用を及ぼし合っていることを理解する。また，個体群レベルから順にそれぞれの段階で繰り広げられる生物の様々な営みと，環境との関係について理解する。<br>b:植物の環境応答・生物同士のつながりについて科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。<br>c: 実験・探究学習に意欲的である。 | 定期考査・小テスト・ノート提出 | 定期考査(思考問題)・実験レポートの内容 | 授業への取り組み・実験や議論への参加・夏休みの課題 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期中間考査 | 14章 | 第14章 生態系<br>第1節 生態系と物質生産<br>第2節 生態系と生物多様性 | a: 生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに，生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し，生物多様性の重要性を認識する。<br>b:生物と環境の関係について科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。<br>c: 実験・探究学習に意欲的である。 | 定期考査・小テスト・ノート提出 | 定期考査(思考問題)・実験レポートの内容 | 授業への取り組み・実験や議論への参加 |
| | | 問題演習 | c:定期的に課される宿題やレポートに意欲的取り組む | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度